

令和5年度 保安全管理システム導入実証事業 選定基準

評価項目	評価事項	配点
1 業務の内容	(1)仕様を示す作業計画管理や保安全管理機能が、実用性に優れるアイデアが用いられ、実現性のある提案であるか	20
	(2)発電所・ダム管理業務が安全かつ的確に遂行可能となる提案であるか	15
	(3)豊富な実務経験を活かした、システム導入による適切な保安全管理の改善に繋がる提案であるか	15
	(4)導入後のチューニングやシステム不具合等に対するフォロー、将来的なカスタマイズについて安価かつ容易な拡張の可能性に関する提案であるか	10
2 業務の実施体制	配置技術者の類似事業の経験が豊富であるか	10
3 業務についての経験若しくは技術的適正の有無に関する事項	類似業務の実績数や内容から、業務が確実に履行できることが見込まれるか	10
4 業務に要する経費及びその内訳	(1)事業内容等に対して必要な経費が適切に見積もられ、かつ県の予算の範囲内であるか	10
	(2)システム利用料等ランニングコストが安価で利用可能であるか(平均年間費用)	10
評価点の合計		100

評価点は、次のとおり得るものとする。

<評価項目1～3> 配点に次の評価係数を乗じて算出する。

評価	A	B	C	D	E
評価係数	1.0	0.8	0.6	0.4	0
評価視点	特に評価が高い 優秀である	評価が高い 満足できる	普通	評価が低い 物足りない	特に評価が低い 満足できない

<評価項目4> 最も低い価格提案の金額からの割合に基づき算出する。

$\text{評価点} = \text{配点} \times \text{最低価格} / \text{提案価格}$
---

・評価事項(1)については予定価格を超過している場合には評価点を0点とする。